

【参考】

不法無線局（不法三悪）の特徴と摘発件数の推移

九州総合通信局では、社会的に大きな被害を与える「不法市民ラジオ」、「不法パーソナル無線」、「不法アマチュア無線」を「不法三悪」と位置づけ警察との共同取締りの対象としています。

1 不法無線局（不法三悪）の特徴

(1) 不法市民ラジオ（ＣＢ）

使用周波数帯：２７ＭＨｚ帯

送信電力：５Ｗ～１ｋＷ 通信距離：数１０ｋｍ～数１００ｋｍ

障害事例：主な障害は、テレビ・ラジオの受信障害ですが、電話機、ステレオ、エレクトーン等への音声の混入やシャッター、自動ドア、玄関チャイム、パソコン等の誤作動も発生しています。

(2) 不法パーソナル無線（ＰＡ）

使用周波数帯：９００ＭＨｚ帯

送信電力：５Ｗ～２５０Ｗ 通信距離：数１０ｋｍ

障害事例：改造された不法パーソナル無線は、主に携帯電話、ＭＣＡ無線に障害を与えます。

(3) 不法アマチュア無線（ＡＴ）

使用周波数帯：主に１５０ＭＨｚ帯、４００ＭＨｚ帯、１．２ＧＨｚ帯

送信電力：１Ｗ～１００Ｗ 通信距離：運用周波数帯により異なる。

障害事例：改造された不法アマチュア無線は、主に消防・救急用無線、列車無線等に障害を与えます。

2 管内における不法無線局（不法三悪）の摘発件数の推移

種別	平成２０年度				平成２１年度			平成２２年度		
	摘発件数				摘発件数			摘発件数		
内 訳	ＣＢ	ＰＡ	ＡＴ	※その他	ＣＢ	ＰＡ	ＡＴ	ＣＢ	ＰＡ	ＡＴ
	５	１３	２	１	６	７	１３	４	７	３

※その他：猟犬用発信機（通称ドッグマーカー）